

# 法音

命は宝

今月の法話

日蓮宗

法音寺

平成 28年

6月号  
No.560



# 一人が一人を

## 是非一人は

是非一人は、仏となれる人に導きましよう。  
法華経には、一人を導く功德は広大であるとあります。

その一人が、他の人を導く功德が又大きいのです。

ついに一人を導く人が仏となります。

一人を導く人が極楽に住む人となります。

一人一人が極楽に住む人、仏になるのです。

御開山上人御遺訓『おりにふれて』

## 月刊・法音

平成二十八年六月号「560」

■目次

### 【信仰の指針】安立あんりやう

「朝のこない夜はない」—命は宝  
生きているだけで

丸もうけです

山首 鈴木正修

4

### ■法音春秋

#### ■特別企画・聖の教え(六)

■是好良薬 今留在此 — 目的を忘れた形式的の信仰

■お釈迦さまと「解空第二」のスーパーテイ尊者のお話

■のりのね 近藤範久

■山首上人さま、日本福祉大学付属高等学校で「講義

【特別寄稿】日本福祉大学付属高等学校

鈴木修学先生に学ぶ「ふくしの心」

■のりのとも 西に東に 転法輪

■福祉のひろば 少子・高齢社会の中の日本の福祉

■福祉に生きる 養護老人ホーム・高浜安立の実践

■編集後記

■連載まんが・ひまわり・42 まごころ

■法音寺の社会福祉・教育事業

表紙題字・信仰の指針 山首上人さま

表紙写真・フジサイ

2

13

14

24

26

30

32

34

43

70

72

80

81

此の經に於ては  
信を以て入ることを得たり

妙法蓮華經・譬喩品第三



アジサイ

信仰の指針

あん

りゆう

安立

使命を感じていますか

日教五



# 夏は来ぬ

一 うの花はなのおう垣根かきねに

時鳥はてなす 早もきはやなきさて

忍音しのびねもらす 夏なつは来ぬ。

三 橘たちばなのかおるのきばの

窓近くまじろか 螢ほたるとびかい

おこたり諫いさむる 夏なつは来ぬ。

五 さつきやみ 螢ほたるとびかい

水雞くいななき 卯の花うはなさきて

早苗さなえうえわたす 夏なつは来ぬ。

二 さみだれのそそぐ山田やまだに

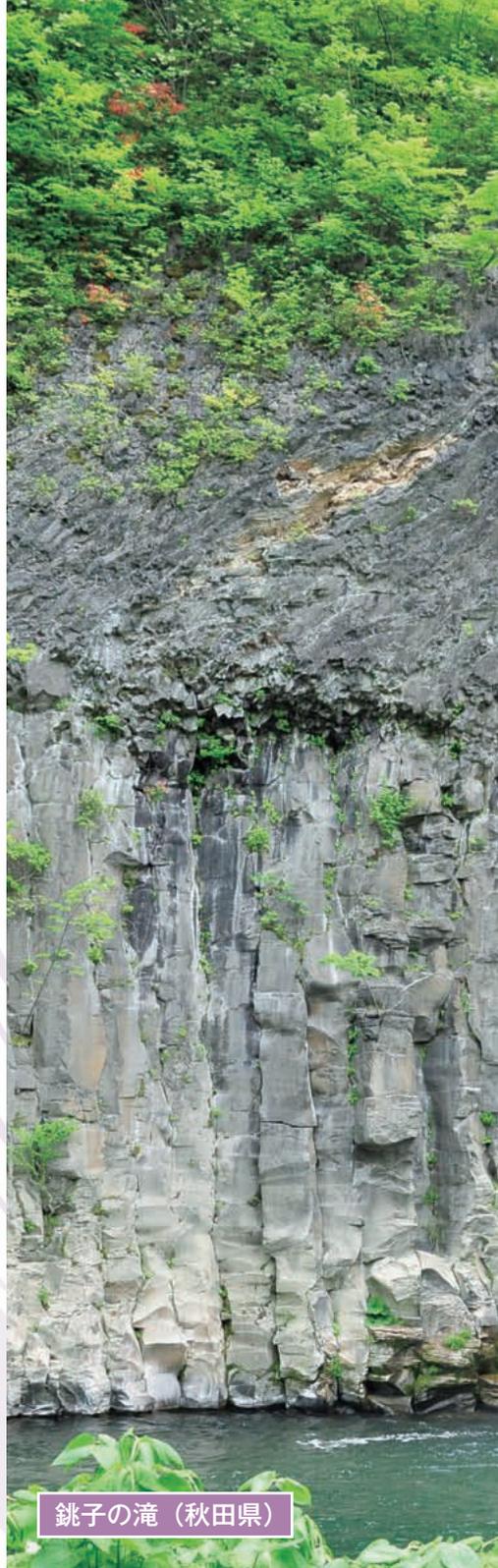
早乙女さおとめが 裳裾もすそぬらして

玉苗たまなえううる 夏なつは来ぬ。

四 棟あうるちる川かわべの宿やどの

門遠くかどとお 水雞くいなこえ声して

夕月ゆうつきすずしき 夏なつは来ぬ。



● 朝のこない夜はない ●



生きて  
いる  
だけで

丸まるもうけです

山首 鈴木正修

## 命は宝

日蓮聖人が「命と申す物は一身第一の珍宝なり」（可延定業御書）と述べておられますように、人間にとって「命」以上の宝物はありません。命が無ければ徳を積むこともできませんし、いくらお金があっても、命が無ければ何の価値もありません。

お笑い芸人の明石家さんまさんが「生きてるだけで丸もうけ」と、娘さんの名前を「いまる」とつけられたことは有名です。

今から三十一年前、御巢鷹山で日本航空の飛行機が墜落し、五百人以上の方が亡くなられました。さんまさんはその飛行機に乗る予定だったので。当時「俺たちひょうきん族」という番組の収録が終わると毎週、大阪のラジオに出るためにあの便と同じ便に乗っていたそうです。それがたまたま、その日に限って早く収録が終わる、一便早い全日空の便に乗ったそうです。それで助かったのです。大阪に着いて少し経ってから、いつもの便

が落ちたということを知って、生きてい  
るだけでありがたいんだ」という思いを、  
さんまさん流の言い方で「生きてるだけ  
で丸もうけ」と言われたのです。

### 長生きの徳

死に直面した時に人間は、生きてい  
るありがたいさを実感します。臨死体験をさ  
れた方や、大病から生還された方は本當  
に「生きていられるだけでありがたい」と、  
誰よりも強く実感されるようです。

何が怖いかと言って、死ぬことほど怖  
いものはありません。成功哲学系の本の  
元祖と言われるナポレオン・ヒルの『成

功哲学』に、人間に恐怖をもたらす要因  
が書かれています。それによると、人間  
は恐怖によつていろいろなことができな  
くなるのだそうです。恐怖によつて心が  
ギュツと閉じ込められて、行動できなく  
なつてしまうのです。

しかし、ナポレオン・ヒルは言います。  
「恐怖を乗り越えた人間は、水平線のか  
なたにまで繁榮してゆくのだ」

恐怖には主たるものが六つあり、その  
一つに「死」があげられています。

ナポレオン・ヒルは、「死はもつと科  
学的に考えるべきものである。世界を構  
成しているものは二つなのだ。つまり、

エネルギーと物質がそれである。物理学では、物質もエネルギーも人間が創造したり、破壊したりすることができないものであることが証明されている。物質とエネルギーは変化するだけなのである。もし生命とは何か、という質問に答えるとするならば、それはエネルギーである、と答えるべきである。エネルギーも物質も消滅するものではないのであるから、他のすべてのエネルギーと同じように、生命もまた不滅なのである。ただ、他のエネルギーに変化するだけなのである。つまり、死とは単なる変化に過ぎないのである。もし死が単なる変化でないとし

ても、死は平和な永久の眠り以外の何ものでもない。死後は何も起こりはしないのである。眠りは何ら恐怖の対象となるものではないはずである。死に対する恐怖は無知が原因である」と言っています。また「死のことばかり考える傾向は、老人にはよく見られることであるが、若者の中にも人生を必死に生きようとするかわりに、死ぬことばかり考える者も少なくない。この原因は無目標が最も大きいものであるが、劣等感が原因の場合もある。死に対する恐怖を取り除くには、他人に尽くそうとする願望を持つことである。忙しい人間は死について考えてい

る暇はないのだ」とも言っています。

「小人閑居して不善をなす」という言葉  
がありませんが、時間がありすぎると私  
ちは余計なことを考えてしまうのでし  
ょうか。

北欧ではある時期、老人の自殺が多  
かったそうです。福祉がとでも進んでい  
て、老人は全く働かなくても楽に生活が  
できる無目標、生きがいの喪失が原因か  
と思われまます。

昔から、長生きをすることによって人  
間は死の恐怖が和らぐと言われています。  
江戸時代の昌平坂学問所の校長だった

大儒学者・佐藤一斎が、「およそ生気有  
る者は死を畏る。生気全く尽くればこの  
念もまた尽く。故に極老の人は一死睡  
るが如し」と『言志叢録』に書いています。

九十三歳で亡くなられた馬場上人が最  
晩年に「正修上人、私は死ぬのが全然怖  
くなくなりました。なんだかいいところ  
へ行けそうな気がします」とおっしゃい  
ましたが、そういう境地になつてみたい  
ものです。

上智大学名誉教授の渡部昇一先生が  
『九十五歳へ』という本を書かれていま  
す。渡部先生は今八十五歳ですが、七十  
五歳ぐらいの時に書かれた本です。です

から当時、あと二十年は生きるつもりで書かれたのでしよう。

その時、二億円ぐらい借金をして書齋を作られました。書齋と言っても図書館みたいなものです。蔵書が二十万冊くらいあり、その本を全部きれいに並べたいということで作られたそうです。その時友人に「あと何年生きられるかも分からないのにそんな借金をしてこんなもの作って」と言われたそうですが、「いや、私は絶対に生きる。書齋を無駄にしないためじゃない。長く生きれば生きるほど人間は死の恐怖から逃れられ、穏やかな境地になると聞いている。そういうこと

を体験してみたい。この借金については、返せる算段がしてあるから心配ない」と答えられたそうです。

渡部先生が漢字学の大家・白川静先生と対談されたことがあります。その時白川先生は九十二歳で、九十六歳まで生きられました。五時間対談されましたが、全く休憩も取らず、ほとんど白川先生がしゃべりっぱなしだったそうです。しかも、いろいろな難しい漢字の話、古典の話などを、何も見ないで記憶だけで話されたと言います。すごいことです。終わってから料亭に一緒に行かれたそうですが、白川先生は九十代とは思えな

い軽やかな足取りでお店に入られて、出された料理をペロツと食べられたそうです。最後にデザートの小さな羊羹を半分残されたので、不思議に思っ「料理は全部食べられたのに、デザートを少し残されてどうされたのですか」と聞くと「うん。最近ちよつと糖尿の気があつて残したんだよ」と答えられたそうです。それを聞いた渡部先生は「私も九十二歳になつてそういうことを言つてみたい」と思われたのだそうです。

渡部先生は「個人差はあるでしょうが、八十歳くらいだとまだ苦しむ人がいるようです。従つて私は、できることなら九

十五歳まで生き、肉体的にも精神的にも苦痛を感じる事が無くなつてからあの世に帰りたいと思つています。九十歳を超えて亡くなられる方は本当に苦しまらない。ほとんどが眠るが如くです。死ぬというより、もつといい世界に遷るといふ感じですか。穏やかに亡くなられているのです」とお話しになつています。

### 情緒豊かに長生きを

長生きの秘訣はいろいろあると思ひますが、笑つたり、面白いこと、楽しいことを考へて日々を過ごすことも大事ではないでしょうか。笑ふことによつて脳が

活性化かつせいされます。認知症にんちしやうが問題もんだいになつて  
いますが、これも、ぼーっとしている時  
間かんが長く続つづくとなりやすいそうです。仕  
事ごとをすることも大事だいじですが、いろいろな  
ものを見みたり聞きいたりして、情緒豊じやうちやうたかに、  
楽たのしく過すごすことが大切たいせつです。

お医者いしやさんで、日々笑わらいを取り入いれ  
て健康けんこうになりましよう、という、日本笑  
い学会副会長の昇幹夫先生のぼりみきおせんせいが「年を取と  
るのはどこからだと思おもいますか。足あしが一番ばん  
最初さいしょに年を取とります。ですから足あしを鍛きたえ  
ないといけません。私は、笑わらうことと同どう  
等とうによく歩あるくことがとても良よいと勧すすめて  
います。でもね、中高年ちゆうこうねんの方がプかたールで

ウォーキングをしてる姿すがた、あれ頭あたまに三  
角布かくきんをかぶつて、三途ずの川かわを渡わたっている  
ようにも見みえるから何か変へんですよね」  
昇先生のぼりせんせいはよくそういう面白おもしろい話はなをさ  
れます。

足あしを鍛きたえることは本ほん当とうに大たい切せつです。最  
近きん、福岡ふくおかが発祥はつしやうだそうですが、健康けんこうに良  
いといふことで全ぜん国こくに広ひろまりつつあるの  
が「足育そくいく」です。人にん間げんは、手てはよく広ひろげ  
ますが、足あしは靴くつの中なかに入はいって、広ひろげ  
ることがあまりありませんから、定てい期きて的  
に広ひろげるのが大だい事じだそうです。  
つまずきやひとの多おほくは足あしの指ゆびに問  
題だいがあるそうです。

「**足育**」の**足指**体操はまず、**足の裏側**から**指の間**に**手の指**を入れて握ります。そして、**足をゆっくり甲**の方に**五秒ほど**反らせ、**続いて足裏**の方に反らせてこちら**も五秒**。これを**両足で五分間**、一日に**最低一回**は行ないます。非常に**即効性**があるので、**体操後**はしっかりと**大地**を踏む**感覚**で立つことができると言います。子どもたちにこの**体操**を教えた**ら転倒**が減り、**ジャンプ力**など**運動能力**の**向上**が見

られた**そうです**。杖をつき、**人に付き添**われながら歩いて**いた女性**も、**自力**で**スムーズ**に**歩ける**ようになったという**報告**もあります。毎日**継続**していくとさらに**効果**が**上がる**そうです。

是非、日々**楽しく足**を鍛えて、**長生き**して**いただけ**だ**けたら**と思**います**。

ただ、**寿命**は**一つの運命**でも**あります**。いつ**死**を迎**えて**も**悔い**のない**よう徳**を重**ねて**いくのが**一番**の**肝心**です。

※可延定業御書 Ⅱ法華経に依りて定業を延ぶべき事。

(昭和新修・日蓮聖人遺文全集)

山首上人さまから戴く「信仰の指針」の欄に「童謡・唱歌」の掲載を始めた。それを見て「講日終了後、有志がご宝前に上がり合唱している」と、大変嬉しいお言葉を頂いた▲もともとは『日本唱歌集』（岩波書店版）を見て、それらの美しい詩と旋律に引き込まれ、それに比べて最近の日本語は！とその乱れが苦になって始めた企画だが、どうも「唱歌」と「童謡」はその誕生の因縁が全く違うのだという。どちらかというと前者は、お固い政府の音頭でできたもので、後者は、それに反発した若い作詩家らが作り、普及させたものという。が、ここではそんな因縁話は別にして、昔からの唱歌・童謡の持つ力・機能について考えてみる▲昨今、唱歌も童謡も歌われなくなって久しい。教育界に於ても子

どもたちの遊びの世界に於ても：

▲終戦後10年くらいたって「新しい子どもの歌」運動が起き、唱歌・童謡類は「退廃した感傷趣味」と批判され始めた。以来、子どもらしい心より大人に通じるものが重視され始め、西欧的な発声法が広がっていった。同時に、唱歌・童謡類は「歌詩が稚拙で人間の心

## ● 法音春秋 ●

情が描かれていない」とされ、次第に子どもたちの世界から消されていった。代わって流行し始めたのはラジオやテレビドラマの主題歌「月光仮面」「怪傑ハリマオ」「鉄腕アトム」「巨人の星」等々である。その裏で消えた（あまり歌われなくなった）歌が童謡第一号の「歌を忘れたカナリヤ」であ

り「こわれて消えたシャボン玉」等々である。今の子どもたちはシャボン玉が大好きなのに、この歌を聞くことはほとんどない▲これは確かに根底に「悲しみ」が秘められていて、終戦後「新日本建設」に立ち上がるための応援歌にはなりにくかったに違いない。怪傑ハリマオや鉄腕アトムや魔球を投げる巨人の星のような元氣潑潑なスターの活躍が求められたことを否定するものではないが、しかしどこかで、立ち返りたいという思いも捨て切れない▲かの大震災の折、荒れ果てた被災地に立った時に思わず口から出た歌は、夕焼け小焼けで日が暮れて……だった▲「童謡は離乳食」と譬えた人がいる。日本人の奥に流れる文化とも言えよう。逞しさもいけれど、日本人古来の情愛をこそ……と思う。

特別企画

# 聖の教え

《南無妙法蓮華經のお題目の二》

(六)

妙法の道をきいても唱へても我が行ひにせずばかないなし

日達上人書

◇我が己心の妙法蓮華經を本尊と崇め奉りて、我が己心中の佛性、南無妙法蓮華經と呼び呼ばれて顯われ給う所を佛とは云うなり。譬えば籠の中の鳥鳴けば、空飛ぶ鳥の呼ばれて集まるが如し。空飛ぶ鳥の集まれば、籠の中の鳥も出でんとするが如し。口に妙法を呼び奉れば、我が身の佛性も呼ばれて、必ず顯われ給う。梵王・帝釋の佛性は呼ばれて我等を守り給う。佛菩薩の佛性はよばれて悦び給う。

法華初心成佛鈔 一六三二頁

◇相構え相構えて、強盛の大信力を出して、南無妙法蓮華經、臨終正念と祈念し給え。生死一大事の血脈此より外に全く求むることなかれ。煩惱即菩提、生死即涅槃とは是なり。信心の血脈なくんば、法華經を持つとも無益なり。

生死一大事血脈鈔 七六二頁

◇凡そ八萬法藏の廣きも一部八卷の多きも、只是五字を説かんだためなり。靈山の雲の上鷲峰の霞の中に、釋尊要を結び地涌附囑を得ることありしも法體は何事ぞ、只此の要法にあり。天台妙樂の六千張の疏玉を連ぬるも、道邃行滿の數軸の釋金を竝ぶるも、併しながら此の義趣を出でず。誠に生死を恐れ涅槃を欣い、信心を運び渴仰を致さば、遷滅無常は昨日の夢、菩提の覺悟は今日の現なるべし。只南無妙法蓮華經とだにも唱え奉らば滅せぬ罪やあるべき、來らぬ福やあるべき。眞實なり甚深なり、是を信受すべし。

聖愚問答鈔下 五九四頁

◇壽量品の肝心南無妙法蓮華經こそ十方三世の諸佛の母にて御坐し候え。

壽量品得意鈔 六八三頁

### ◆御開山上人

なぜお題目を唱えるか 私 が青年たちと、鼻歌を唱いながら稻の除草をしている時でした。

杉山先生から、

「歌を唄って仕事をするのもよいが、お題目を唱えて仕事をすれば思いがけない徳が積めますよ。目には見えないようでも、一列の草を取る間に百遍の唱題としても十列で千遍です。この唱題の功德を亡き人に供養すれば、仏前での唱えと同じように立派に先祖の追善ができます。」

追善された先祖の霊は、きつと喜びます。

この唱題の行は形となって現われ、大難は小難に、小難は無難で脱れられます。また、お題目を唱えている人の周囲の者の仏性の芽を出させる作用もできます。そして、虫の類にまでその功德が及び、回転成仏の作用となり、その虫類まで世の中に役立つ者となって生まれることができます。この作用を、国土成仏とも申します。

この善根によって自分自身の仏性も、段々育ちます。従って迷い心が除かれて、人を助け救うよい智慧が増されてきます。智慧が増せば大勢の人々を感化することができますから、ますます善根が積まれます。これが人間に生まれてきた大事な仕事です。

虫が無くなって作物がよく稔り、世の中の人々により多くの食糧を与えることができるわけです。これを法界の布施とも申します。

日本中の人々が慈悲・至誠・堪忍の善き行ないをして、仕事の時も道を歩む時も、行住坐臥にお題目を唱える口の行をすれば、仕事の能率も向上します。きつと病の神も貧乏神も逃げ出して、福の神に守られる人となって、喜びの日を暮らすことができます。

それを、お題目も唱えず、愚痴不足で日暮らしをする人々は、不幸の基を作る、ためにならぬ日暮らしで、まことに残念なことでありませう。ですからよい心がけ、よい行ないをしながら、仕事をする時も道を歩く時も、お題目を唱えませう」

というお話を伺いました。

お題目を唱えることは、法華経を信ずる人々の行であります。われわれは、その行をするために生まれてきたものであることを自覚しなければなりません。

現世は安穩で、後生も善い住所に生まれるその基は、お題目を唱えることです。努めてお題目を唱えるようにいたしましょう。

明るい生活 一二頁

**お題目の唱え方** 杉山先生は「たゆみなくお題目を唱えなさい。災難を脱れることもできます。

自分の働きが都合よくなり、幸福を招く基となりますので、行住坐臥と言って、仕事をしている時でも、道を歩く時でも、寝ている時でも唱えましょう」とお教えくださいました。よい考えをする時、よい考えの浮かぶようにする時は、お題目を唱えると大変よろしいと思えます。お題目を唱えていますと、邪念が消えてよい心持ちとなります。身体の痛い時、苦しい時唱えますと、きつと身体が楽になります。

悲しい時、苦しい時には理屈なしに唱えましょう。また、人にも唱えてあげましょう。法座の時でも、お題目会の時でも、心の苦しい人、痛い所のある人にはお題目を唱えてあげましょう。

御開山上人御遺稿集 二四頁

## ◆日達上人

南無妙法蓮華經のお話

南無妙法蓮華經と唱えることは「妙法蓮華經と私

は一体でございま

す」ということです。

私共の日常を省みると、様々な出来事に遭遇し、悩み・苦しんでいま

す。それは、妙法蓮華經から遠ざかっているからです。それも、自分から遠ざかって行ったの

です。妙法蓮華經と離れた世界に行けば、困難や苦悩に出会っても仕方がありません。

また単に「南無妙法蓮華經」とどれほどたくさん唱えても、それだけで妙法蓮華經と一体に

なれるかというのと、そういうものでもありません。妙法蓮華經と一体になるには、その教えで

ある慈悲・至誠・堪忍の功德を積まなければなりません。

せっかく妙法蓮華經と一体になれるチャンスに恵まれながら、貪り・瞋り・愚痴の「我」に

振り回され、どんどんどん、仏さま妙法蓮華經から遠ざかってしまうのです。そうして、

影も姿も見えないような所にまで行ってしまったら、苦しみ・悩みから離れることはできません。

「自分で遠ざかったものなら、また自分で帰ってくればいい」と思うかも知れませんが、三徳

の世界と三徳の世界の隔たりは、どこかに遊びに行つて家に帰るように簡単には行きません。

三徳の世界に行くのは簡単ですが、三徳の世界に戻るには、一つずつ着実に功德を積み、罪障

を消滅させてゆかなければなりません。

この道を教え、導くのが慈悲・至誠・堪忍であります。家庭に、職場に、日常生活のすべてに、自分でできることで実行し、少しでも人に喜んで頂けるよう努力するのです。そうして、仏さまの妙法蓮華経と一体になれた状態を、本當の幸せに成仏といふのであります。南無妙法蓮華経と唱える以上、言行一致の生活を送りたいものであります。

大白牛車・4 一一頁

◇南無妙法蓮華経は死出の山にては杖柱となり給い、釋迦佛・多寶佛・上行等の四菩薩は手を取り給うべし。日蓮先に立ち候わば、御迎いにまいり候事もやらんずらん。又さきに行かせ給わば、日蓮必ず閻魔法王にも委しく申す可く候。此の事少しも虚事あるべからず。日蓮法華経の文の如くならば、通塞の案内者なり。只一心に信心おわして靈山を期し給え。

彌源大殿御返事 一〇四一頁

◇日蓮は日本第一の法華経の行者なり。もしさきにたたせ給わば、梵天・帝釋・四大天王・閻魔大王等にも申させ給うべし。日本第一の法華経の行者、日蓮房の弟子なりとなのらせ給え。よも芳心なき事は候わじ。但一度は念佛一度は法華経唱えつ二心ましまし、人の聞くに憚り

なんどだにも候わば、よも日蓮が弟子と申すとも御用い候わじ。後に恨みさせ給うな。

南條兵衛七郎殿御書 五四四頁

### ◆御開山上人

法華經の話というものは、わからんような話はいくら上手に話してもあかんのですよ。わかるような話をしなければなんにもなりません。みなさんもわざわざお忙しい中をいらして頂くわけがありますが、少しずつでも覚えてお帰り頂きたいと常々思っているのです。はたしてわかって頂けますでしょうか。今日来て頂いた方は全部の方が、三途の河へなんか行って頂かなくて結構ですよ。もうはつきりのことわって頂いていい。閻魔さまに私がそう言うていたとお話ししてもらえば結構であります。

御開山上人御法話集 五〇頁

今日みなさんがおいでになって、話を聞いて喜んで頂けるのも、どうしたら仏に成れる、どうしたら極楽へ行けるかという話があるからなんです。今日お寺へいらっしゃった方は地獄へは決してやりません。全部極楽へ行けるように致しますから、そう思ってね、極楽へ行きなさい。行けるようにします。それから、きつと仏になれるようにしますから、もうしばらく辛抱して私の話を聞いてくださいよ。

御開山上人御法話集 三八頁

みなさん心配なさいますな。みなさんは地獄や三途の河や閻魔さまの前へ行くようなことはありません。みなさん方が善因を積んでゆかれますならば、ますます商売繁盛するに決まっておりますし、それからみなさん方が仏に成れますし、みなさん方の家も繁盛してゆきます。それはみんな妙法蓮華經の実行のおかげであります。

御開山上人御法話集 五二頁

◇御文に云く、『此の經を持ち申して後、退轉なく十如・自我偈を讀み奉り、題目を唱え申し候なり。但し聖人の唱えさせ給う題目の功德と、我等が唱え申す題目の功德と、何程の多少候べきや』と云云。更に勝負あるべからず候。其の故は愚者の持ちたる金も智者の持ちたる金も、愚者の燃せる火も智者の燃せる火も其差別なきなり。但し此の經文の心に背きて唱えば、其差別あるべきなり。

松野殿御返事 一四七九頁

◇法華經を餘人の讀み候は、口ばかり言ばかりは讀めども心は讀まず。心は讀めども身に讀まず。色心二法共に遊ばされたるこそ貴く候え。『天の諸の童子、以て給使を爲さん。刀杖も加えず、毒も害すること能わじ』と説かれて候えば、べちの事はあるべからず。

土籠御書 七〇六頁

## ◆御開山上人

身・口・意の實踐 日蓮聖人は「私の唱える題目も皆さんが唱える題目も題目に変わりはない」とおっしゃられるけれども、日蓮聖人の唱えられるお題目は、一口のお題目が百遍分にも

千遍分にもなっているのではないかと思います。というのには、お題目を唱えるということとは、これは実行することでありまして、このことを御義口伝の中でおっしゃられています。

また「土籠御書」という日朗上人に宛てて書かれた御書があります。

「法華經を餘人の讀み候は、口ばかり言ばかりは讀めども心は讀まず。心は讀めども身に讀まず。色心二法共に遊ばされたるこそ貴く候え」とあります。

「世の中の人は、法華經を口に唱えても実行することがないから、このお題目が三分の一になつてしまふ。あなたは本當にそれを実行してお題目を唱えながらみんなのためには思つて一生懸命なされた。これが本當の徳である」とおっしゃられているのであります。ですから南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經、デレツク・デレツク・デン、これでいいかというところういうわけにはゆきません。

御開山上人御法話集 九四頁

## ◆日達上人

お題目が根本 頭がいいからお題目を唱えるとか、悪いから唱えないとか、今不幸だからとか

幸せだからとか、そういう今現在の状態とは関係なく、貧富も賢愚も、老若男女一切関係なく、とにかく行住坐臥、心の中でお題目を唱え、行ないに移してゆくことが、何よりの根本であります。

大白牛車・5 四二頁

**お題目** お題目は、罪深い者が自分の意志だけで唱えられるものではありません。お題目を唱えられる今の自分を喜びたいものです。

大白牛車・6 一一八頁

梵王・帝釋 梵天王・帝釈天は共にインド最古の聖典『リグ・ヴェーダ』における最大の神で、後に仏教に取り入れられて『護法』の善神となる。

臨終正念 命のまさに終わろうとする時、心を正し、靈山浄土への往生を期すること。

疏玉 疏とは、障りなく通ずること。そこから、經典などの文義の筋道を明確にし、わかりやすく説き分けること。玉＝宝。

道邃・行滿 いずれも中国・唐の時代の、天台宗の僧生没年不明。

遷滅無常 万物は常に生滅を繰り返し、遷り変わって

おり、常住なものはないとの意。諸行無常の姿をいう。通塞 通ずることと塞がること。運と不運、幸と不幸などの意に用いる。仏法では修行に障害がないことを通といい、あることを塞という。

十如 十如是＝諸法に具わっている十種の存在の仕方。諸法を十の側面から見たもの。天台大師の立てた一念三千の教義の依拠となった哲理。

如是とは「是くの如き」と読み、「ありのままに見た事物・事象のすがた」ということ。中道実相を意味する。法華経・方便品に「相・性・体・力・作・因・縁・果・報・本末究竟等」とある。

# 是好良薬

# 今留在此

是の好き良薬を

今留めて此に置く

二祖・村上先生御法話集（第一巻）

## もくてぎ わす けいしきてぎ しんこう 目的を忘れた形式的の信仰

世の中の人は、神に祈り、仏を信じ敬うことを信仰と言っておられますが、かように神仏を恭敬することに因って果たして、各自の願望が成就するものでありましょうか。

「鯛の頭も信心から、と昔から申しますが、鯛の頭を拝んで利益を受けるといふことができ得るではありませんようか」と聞かれた時、

その質問に対し私は、有るとも言わんが、また無いとも申しません。信ずる人の心境いかんによって、必ずしも現証が無いとは限らないからです。ただし、まず大抵の場合は無駄事でしょう。

これとは趣を異にしますが、時折皆さん方の中で頭が痛い、腹が痛いという時に、妙法を唱えてその患部を撫でられる、すなわち神通です、そうして間もなく、痛みが止まった例は枚挙に暇なき程でありますがかような場合でも、その効の顕著なる時と、

効こうの少すくない時ときとが有あります。あるいは、却かえつてその痛いたさを増ますが如ごときことと有あります。これらは先さきの「鰯いわしの頭あたまも信心しんじんから」といっ言いい伝つたえの如ごとく、信しんずる方ちからのいかに困よつて、その効こうりやく力りきにはなはだしき差異さ異いを生しょうずるので有あります。

お互たがいに唱となえる題目だいもくは誰だれでも変かわり有ありません。日蓮にちれん聖しょう人にんもこの唱しょう題だいについて、「愚ぐ者しゃの持もちたる金かねも智ち者しゃの持もちたる金かねも、愚ぐ者しゃの燃もせる火ひも智ち者しゃの燃もせる火ひも其その差さ別べつなきなり」（松野まつの殿どの御ご返へん事じ）と申もうしてお

られます。題目だいもくには変かわりないけれども、その信しんずる人々ひとびとの心こころに困よつて、その差さが生しょうずるので有あります。釈尊しやくそんも「此この経きやうに於おては信しんを以もつて入いることを得えたり」（譬ひ喩ゆ品ほん）と申もうされましたが、疑ぎ惑わくを生しょうじて信しんぜず、その人ひとの人格じんかくを疑うたがい、その人ひとの貴き賤せんによつて軽けい重ちゆうの思おもいをなすが如ごときは、その効こうを見みぬことを証しょうする因いんで有あります。

最さい第だい一のこの法ほうを信しんずる者ものが心こころの底そこより了解りようして信しんじたならば、その効こうはその人ひとの信しん念ねん次第しだいで必かならず現あらわれてまいります。

## 汝可取服

## 勿憂不差

汝なんじと取とりて服ふくすべし

差いえじと憂うれうること勿なかれと



# お釈迦さまと「解空第二」のスピーティ尊者のお話

『孤独な人々に施しをする人』  
という意味の『給孤独長者』  
とも呼ばれていたスタツタ長  
者は、コーサラ国の都の舎衛  
城の南に「祇園精舎」を建て  
てお釈迦さまに献納されまし  
た。スタツタ長者の弟スマナ  
の子として生まれたスピーテ  
イ（須菩提）は、その完成祝  
いにお釈迦さまをお迎えした

時、初めて  
説法を聴い  
て大いに心  
を打たれ、  
直ちににお釈迦さまに願ひ出て  
出家しました。

スピーティは、お釈迦さま  
の数多いお弟子の中で、解空  
第一（物事にこだわらない  
者）、あるいは、無諍第一



（人と争わない者）、  
また、被供養第一（世の  
供養を受けるに値する資格を  
持った者）と称えられた方で  
した。

ある時、スピーティは隣の



マガダ国の都・王舎城で托鉢をして歩いていました。マガダ国のビンビサーラ王は、お釈迦さまの教えに深く帰依していましたから、お弟子の方々が自国に来ると、いつも喜んで供養をしていました。

ビンビサーラ王は、スプーテイの評判を聞いていましたが、一目見た時にスプーテイの大層気高い様子をすっかり気に入りました。そこで、永く自分の国に滞在して、人々に説法してくれるように頼みました。それにはまず、住む所を造らなければなりません。

「尊者のために小屋をお造りいたしますから、どうぞその小屋にお

住まいください」

ビンビサーラ王は、急いで小屋を家来に造らせました。ところが王は、国の政治が忙しかつたので、土台ができて、柱が立ち、周囲に壁ができた



ところで、もう小屋ができたものと勘違いして、スプーティに、すぐ小屋に住むように勧めました。

スプーティは、ビンビサーラ王の心づくしの小屋に住むことにしましたが、小屋に入っ**て**びっくり、屋根がないのです。朝早くから陽はきらきらと輝き、夜は、月の光がこうこうと差し込みました。しかしスプーティは、その屋根のない小屋をありがたく受け、平気な様子で住んでいました。さやさやと風が吹き抜け、雲は悠々と頭上を過ぎました。



人々は、普通の家にいるのと少しも変わらないスプーティの様子にあきれました。そして、雨が降ったらどうするか噂し合いました。

ところが、スプーティが小屋で暮らし始めてから何か月か過ぎましたが、雨は全く降

りませんでした。スプーティの徳によって天は、雨を降らせませんでした。困ったのは、噂をしていた人たちのほうです。一滴の雨も降らないため、日照りで苦しむ事態になってきました。

人々は、ビンビサーラ王に「何卒スプーティ尊者の小屋に屋根を葺いて下さい」とお願いしました。ビンビサーラ王は、やっと屋根を忘れていたことに気がついて、失念していたことを詫言、屋根を葺き、改めてスプーティが住めるようにしました。



スプーティの小屋に屋根が  
できると、天は待ちかねてい  
たように雨を降らせました。  
人々は、手を取り合って喜び、  
スプーティを「被供養第一」  
と呼びました。ご供養を受け  
る時、あれこれと好き嫌いを  
言わず、どのような物でもあ

りがたく頂くことがで  
きる人、ということでは  
す。

スプーティは、王に  
催促することもなく、不足を  
思うこともありませんでした。  
そして、屋根が葺かれた時に、  
次のような詩を唱えました。

わたしの小屋は 完成し  
風も通さず 心地よい  
天よ降らせよ 恵みの雨を  
わたしの心は 落ち着いて  
迷いを断つて 悟り得る  
わたしの真の 求道心  
解して天よ 雨降らせ

(J・K)



## 学園創立者・鈴木修学先生のご生涯と建学の精神



4月26日、鈴木正修学園長を日本福祉大学付属高等学校に特別講師としてお招きして「学園創立者鈴木修学先生のご生涯と建学の精神」と題した授業が行われました。

科目は2年生対象に開講されている「福祉社会入門」です。この科目は、学園創立者・鈴木修学先生の教えに学び、建学の精神への理解を深めることによって本学園にふさわしい生徒としての教養の形成をめざすとともに、現代社会をめぐる「ふくし」の課題に着目し、調査・研究する力、討議する力、発信する力、協同して活動に取り組める力等の養成を目標にしています。

鈴木修学先生の物語「日本の福祉を築いたお坊さん」が、昨年度より入学記念品として新入生全員に贈られるようになり、生徒は既に1年次で本を読み、「日本福祉大学の歴史」についての学長授業（1時間）を受講していますが、2年次ではさらに深く創立者と建学の精神について理解を深めるプログラムになっています。

4月26日は第1回目の授業です。そこで、鈴木正修学園長からお話をいただいたものです。

授業の後、引き続き学園長には「第33回開学記念式典」にもご出席いただきました。学園の歴史の中で美浜総合移転は「第二の開学」と位置づけられており、毎年4月に開催されるこの式典では、教職員が一同に集まり、新年度の始まりに思いを新たにするとともに、新任教職員紹介や永年勤続表彰が行われます。

今年の学園長挨拶では、付属高校への修学先生の熱い思いと「真・善・美・聖」について、次のようにお話をいただきました。

「付属高校は、1958年に日本福祉大学附属立花高等学校として誕生しました。立花の名前の由来は『橘の木』にあります。修学先生の師である杉山辰子先生の家の家紋が

『橋』、日蓮宗宗祖である日蓮聖人の実家の家紋も『橋』であったということや、御所にある『右近の橋』など、古来より長寿瑞祥の常緑木として愛でられてきたことから、「皆さんに愛される学校になってほしい」との意味が込められていると思います。

修学先生はこのほか立花高校が大好きで、多忙な中でも時間があれば絶えず足を運ばれて、生徒の勉強する姿や運動をする姿を喜んで眺められていたと聞いています。1962年6月5日に幼い私を連れて立花高校に赴き、そこで倒れられて7日に遷化されましたが、大好きだった高校が終焉の地になったことは本望ではなかったかと思えます。「建学の精神の中において、立花高校の校是にも定められた『真・善・美・聖』について、修学先生が1959年社会福祉事業の世界大会でお話しされたことが残っています。重度の知的障害を持った子どもの職業教育は不可能であるとの話になった際、当時八事少年寮の子どもたちが、大学や立花高校で使用していた机・椅子を立派に作った事例を話された修学先生に対し、『どうしてそんなことができるのか』と驚きの質問が寄せられたそうです。その際に修学先生は『その少年たちに、日本福祉大学を卒業した指導員が、建学の精神にある真・善・美・聖の精神を、働きながら話したことが大きな力になっていきます』と答えられました。修学先生の解釈では、『真』は真心を込めて、『善』

はそれによって善行功德が積まれる。『美』とはそうやって一生懸命にやる姿は美しい。『聖』は、そういった姿を見た人が真似ようとする、手本としようとする姿、それが聖なる姿。そのことを説いたら、知的障害の少年たちが一生懸命取り組んでできるようになった。言葉は通じる、といったことを話されて大変驚かれたそうです。そして良く出来た時には『皆さんの真心が立派に表れています』とほめられたそうです」

大学から始まった学園のため、常に原点の話となると大学となり、どうしても付属高校はその後の歴史の一コマとなりがちですが、今回のお話は、付属高校の原点について、教職員全体で共有することができた大変貴重な機会になったと思います。

2年後の2018年、付属高校は創立60周年を迎えます。青年期一貫教育をさらに推進していくためにも、付属高校創立の原点や歴史にも、全教職員が折にふれて立ち返る時期を迎えていると考えています。また、建学の精神は長文であるため、主に後半部分を中心として取り上げられることがほとんどで、なかなか前半部分は理解が至らなかつたのですが、今回の「真・善・美・聖」のお話で、前半部分が持つ深い価値についても、認識を新たにすることができました。

日本福祉大学 理事長・学長室長 粉川玲子

# 福祉のひろば

## 少子・高齢社会の中の日本の福祉

**認知症** 高齢者の方と、介護の職員が関わ  
があります。『嘘つきは泥棒のはじまり』と昔か  
ら言われてきましたが、その「嘘」が必要な時が  
あるのです。

Aさんが通所介護（以下「デイサービス」とい  
う）を利用された時のことです。大工だったAさ  
んは、デイサービスの送迎車が来てもなかなか乗  
ろうとしません。迎えにいった職員が無理やり車  
に乗せようとしても、頑として動きません。しか  
し「Aさん、うちの家の扉が壊れて困っています。  
あなたは大工さんでしたよね。助けていただけま  
せんか」と声をかけると、すんなり乗っていました。

市会議員をしていたBさんは、安定した歩行が  
できるにもかかわらずデイサービス利用時には必  
ず、杖を持参されます。ある時、他の利用者の方  
とトラブルがあり、思わず杖を振り上げて威嚇す  
る行為が見られました。このまま放置すれば今後、  
重大な事故につながるおそれがあります。しかし  
「普通に説明」してもすんなり理解していただけ  
るBさんではありません。そこで一晩考えただけ  
は次の日、Bさんがデイサービスに来られて椅子  
に座ると「おはようございます。先生、素敵な杖  
ですね。只今、杖の無料点検サービスを実施して  
います。この機会にいかがですか」と尋ねたので  
す。すると、「ああ、頼む」と、すんなり杖を差  
し出してくださいました。

帰宅願望のあったCさんが「家に帰してください」と言って来られたような時には、その理由・目的に合わせて、例えば「今、タクシーを手配しましたので、しばらくお待ちください。その間、こちらでお茶でも飲みませんか」と伝えます。そしてお茶を飲みながらCさんと談笑していると、いつの間にか「家に帰りたい」と言ったことを忘れてしまうのです。

この方法は、主にアルツハイマー型認知症の「記憶障害」を逆手にとった対応ですが、『嘘をつくのは人としていけないこと』『人生の先輩に対して失礼』と感じる方もおられると思います。しかし、認知症の高齢者の方に「普通に説明」しても「不安や怒り」を抱かれるばかりか、介護する側も相当のストレスを感じてしまうのです。

そうした方々へのケアの基本は、「安心」していただく生活環境の調整や声かけを工夫することです。つまり「記憶障害」等により、現実の世界に不安を抱いている方の状況を推察し、その状況に合わせて納得のいく「嘘をつく(説明・演出・演技をする)」ことが大切なのです。

こうした対応の方法は、例えば生後間もない赤ちゃんが夜泣きをした時、「こんな時間に大きな声で泣いていると周りの人に迷惑になるからやめなさい」と、「普通に説明」しても意味がないことと同じです。言語未獲得の赤ちゃんは「不快」な気持ちを周囲に言葉で正確に伝えることができません。そこで、愛情をもった周囲の大人が「おむつが濡れたのかなあ。お腹がすいたのかなあ。それとも何か病気にでも」と、その状況をおもえばかって対応しているのです。

認知症高齢者の方も「記憶障害」等により「不快」な気持ちを上手く周囲に伝えることができないのですが、その言動には必ず意味や目的があります。ですから、その方の職業等の生活歴や性格・趣味・嗜好・習慣を踏まえて納得のいく「嘘をつく」ことは、決して『泥棒』につながるものではありません。この場合の『嘘』は『方便』となり得るのです。(K・T)

(参考文献) 『認知症の人がスッと落ち着く言葉かけ』

株式会社講談社



社会福祉法人 昭徳会

養護老人  
ホーム

## 高浜安立の実践

# 福祉に生きる

『日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語・日本の福祉を築いたお坊さん』を読んで…

### 修学先生が築き上げた福祉の

新たな未来を切り開くために

人の良いところに気づき、感謝を持って接します

養護老人ホーム高浜安立 調理員 世古 和加奈

今回、鈴木修学先生の歩んできた生きざまについて書かれている本書を拝読したことで、自分の福祉人としての人生観について改めて考えるきっかけとなりました。

『出会い』の部分にある、修学先生のように「自分はこのままでいいのか、幸せなのか」と、今ある現状を振り返り、自問自答し、人生の意味を考えることは大切であり、忘れてはならないことだと思えます。

私は以前、調理師として仕事中心の生活をしてお

り、食に関わる仕事をしていながら、食生活を含め生活が乱れていた時がありました。そういった生活を続けていたので体調を崩してしまい、その経験から、私にとって「食」への考え方が変わりました。

それ以来、高齢者施設の食事のように、栄養バランスを考えた昔懐かしい、おいしい、心のこもった手作り料理を作っていく仕事をしていきたいと思い、今勤めている施設に再就職しました。働き始めて一年半が経ちますが、上手くいく時もあれば、まだ料理のこと、人との関わり方で反省することも多くあります。その中でも、一人ひとりに思いを込め、関わっていく、喜んでいただける食事の提供に勤めていくことが今の私の使命です。そういった初心を忘れず、自分にある使命、人それぞれの幸せについて考えることで、これからどのように働いていかなければならないのか見えてくると思うからです。当たり前に日々を過ごすのではなく、働く使命、幸せについて考え、自分のできること、立場・仕事を通

して困っている人へ手を差し伸べ、人々の手助けをする心を大切に働いていきたいと思っています。

「生の松原」では、療養所の過酷な環境の中、ご夫婦二人で施設運営をし、大変経済的に苦労されている中、一生懸命患者さんのお世話をされている様子が印象的でした。私は幸いそのような経済的な苦労を経験したことはなく、修学先生ご夫妻が経験した挫折を想像すると、私のこれまでに経験した苦労の百回分を一度で経験し、行き詰まるころまで行ってしまったのだと思います。

自分は、一つの失敗を引きずってしまいましたが、自分が経験をした挫折から学んだことは、健康で今ある生活が幸せなのだということです。また、社会事業と仕事に共通することは、「一人ではできない」ということです。地域、家族、同僚がいて、支えてもらっているからこそ働いていけるのだと気づきました。

「臥竜山での少年指導、戦争中宗教弾圧を受ける中

での活動、「児童養育」では、困難な状況でも明るい心を失わず、自ら率先して働き、法華経の教え、三徳の精神を持ち、子どもと関わり、導いているところに、現在の昭徳会の方針が多く見られました。人と関わっていく上で、三徳の精神を真心を持って一杯取り組んでいくと信頼関係が生まれてくるように思いました。私は、普段人と関わる中で感謝の気持ちを忘れずにいようと思っはいますが、頭で思っていることと行動が伴っていない時もあります。人の良い所に気づき、相手に言葉として伝える大切さを、修学先生の指導法を読んだことで気づくことができました。自分も三徳の精神を心に留め、仕事に取り組んでいきたいと思ひます。

法華経の三徳は昭徳会に引き継がれています。本書を読んだことで、私自身もその精神を引き継ぎ、家族・職場・地域社会の中で真心をもって関わっていく、生涯を通して勉強をし、自分自身を成長させていきたいと思ひました。

## 修学先生の教えが施設内に根づいています

養護老人ホーム高浜安立 支援員 村越 秀子

鈴木修学先生の功績については入職式の折、お話を伺っていましたが、改めて本で読むと、すばらしい、すごい方だと感じました。また、先生が築かれた昭徳会の一施設で仕事のできることは、幸福だと感じました。そして、昭徳会の基本理念・基本方針の唱和をしながら、先生のお心を胸に刻み、日々の仕事に臨んでいきたいと考えています。

つい日々の業務に流されそうになりますが、心ゆとりを持ち、一つひとつの言葉をかみしめて、一人ひとりの方に接していきたいと改めて思わせていただきました。同時に、慈悲・至誠・堪忍の三つの教えを念頭に置き、今後も実行の精神でますます正しく生きていかなばと気を引き締めることができました。この昭徳会に御縁があったのも、法華経に触れる機会ができたことも、我が身を見つめるための

好機だったのであろうと思っています。

藤森の育児院の指導方法で、修学先生の「ほめる心掛け」がとても印象に残りました。私も、ほめて育てる、ほめてやる気を起こさせる、ほめて心を開く、ほめて職員と入所者の信頼を築くことを実践していかなければ、と決意しました。また、修学先生も、ほめた後で教える〴〵とおっしゃっていますが、私も、仕事の中でほめた後に、そして感謝の言葉を述べた後で規則を伝えるようにしております。

ある時、ホームレス経験のあるYさんの居室の掃除をしていたらベッドの枕元に、慈悲・至誠・堪忍の教えが書かれた紙が置いてありました。〴〵ここにもちゃんと修学先生の教えが根づいているんだ〴〵と気づかされました。毎朝八時三十分前になると、お経本や数珠を準備してくれる方もいます。職員が声を掛けずとも皆さん集まって、話を聞いておられます。法華経を唱えることで安穏とした一日、一生を保障されているようです。

少しでも誰かの支えになりたいと思いました

養護老人ホーム高浜安立デイサービスセンター 介護員 藤原 華奈子

「なんという残酷なことを言ってしまったんだ……」。  
修学先生は、患者さん達の心を切り刻んだことを悔やみました。そしてしばらく考えると、自分の荷物の中から金の懐中時計を取り出しました。菓子パン屋時代に購入した宝物でした。

「みつ、すまないが、これをもって質屋に行ってくれないか」

「えっ、これはあなたのいちばん大切な宝物ではありませんか」

「金時計は、お金があればまた買うこともできる。しかし、この患者さん達は、この先いつ、どんたく（博多名物のお祭り）を見ることができるかわからないからね」

みつ夫人は、その金時計を握りしめ、そして自らも、花嫁支度でつくってもらったただ一つの晴れ着

をもって、質屋に走りました。

自分に置き換えると、私は、自分にはできないことだ」と感じました。自分の大事な物を売り、お金にして困っている人を助けること。私が修学先生だったら、みつ夫人だったら、はたして同じことができたかどうか。自分のことはさておいて人のために何かをするなんて、とても心の強い人だと感じました。

私は、普段の生活で、自分は誰かの役に立てているだろうか」と改めて考えてみることにしました。考えていくうちに私は、いろいろな人に支えてもらいながら生活していることに気づきました。自分の中では、もう自分のことはできるからと思っていて一人で生活していたつもりでしたが、そうではありませんでした。そして、自分が誰かの力になっている自信もありません。今の自分があるのは私を支えてくれる人がいるから。その人達に感謝の気持ちを忘れないで、少しでも私も誰かの支えに

なりたいたいと強く思いました。

## 昭徳会の未来を切り開くために…

養護老人ホーム高浜安立アイサービスセンター 介護員 太田 伶美

愛知県の農家兼菓子問屋に長男として生まれ、事業に成功し、人並み以上の生活をしていたのに、二十六歳という年齢で杉山先生・村山先生が経営しておられた救済会に入られた修学先生。ハンセン病という病気の療養所に行ったり、児童養護施設を作ったりと多忙な人生を送り、福祉に人生をかけて一生を終えるなんてすごい方だと思いました。

私は十八歳で昭徳会に入りました。創立者・鈴木修学先生の大切になさっていた言葉「如我等無異」を私は研修の時に知りました。「如我等無異」とは、すべての人に自分と同じように幸せになってほしいという仏さまの願いだそうです。

自分は今デイサービスで働いており、忙しい日々を過ごしていますが、まだまだ未熟で、日々誰かに

支えられながら生きていられるということを昭徳会に入ってからためて感じました。現在は研修で学んだ「明るく、元気に、笑顔であいさつ」という基本姿勢を大切にして生きようと思っています。

デイサービスに来られる方々と生まれた時代は違いますが、生きている時代は一緒です。しかし、戦争の時代を生き抜いてきた方たちとともに生活していると、時々とまどうこともあります。そういう時は今日一日を反省して、明日は意義のある一日を送ろうと思って過ごしています。

私は、利用者の方々に自分がどう思われているかはわかりませんが、入職して今日までの5か月間で「最初の瞬間に楽しい人生だった」と思っていただけける接し方をしようと決意しました。最初に学んだ「明るく、元気に、笑顔であいさつ」を胸に、利用者の方々とともに人格を磨き、感謝の気持ちを忘れずに、周りの方々に学ぶ心を大切にして、修学先生が作り上げた昭徳会の新たな未来を切り開くために

頑張つていきたいと思えます。

#### 養護老人ホーム高浜安立

●愛知県高浜市豊田町3-1-15  
入所定員50名

●職員 正職員13名、パート職員3名

●調理員 入所者の給食の調理を担当。「おふくろの味」「おふくろの手料理」を提供。食事がおいしいと評判の施設。

●支援員（高齢者福祉分野） 入所者の食事介助、排泄介助、入浴介助、移動介助等の基本的な生活支援を担当、入所者の自己実現の援助、行事やクラブ活動の余暇支援等を担当。特に資格は必要としない。支援員として3年間の実務経験で国家資格である介護福祉士の受験資格が取得可能。

●介護員 入所者の食事介助、排泄介助、入浴介助、移動介助、清潔・整容介助を主に担当。国家資格である介護福祉士の取得者が望ましいが、介護員として特に資格は必要としない。介護員として3年間の実務経験で国家資格である介護福祉士の受験資格が取得可能。  
.....

※本稿は平成27年10月に頂きました。（掲載順不同）

『日本の福祉を築いたお坊さん』・星野貞一郎著  
中央法規出版・800円（税別）

本書の著者印税のすべては「あしなが育英会」に寄付されています。

## 「安らげる我が家」に胸をふくらませています



### ～ 養護老人ホーム高浜安立の挑戦 ～

養護老人ホーム高浜安立は、経済上・環境上、社会で生活することが困難な方が入所する施設であり、自立した生活を送っていたことが大前提の施設です。しかし現実には、認知症が進み、自分の部屋を認識できない方や、親類・縁者が面会に来ても認識できないほど症状が進行された方も入所しておられます。また、罪を犯した「元受刑者」で行き場のない方や、他施設で問題を起こして施設を転々とし、ようやく当施設にたどり着いた方もおられます。そのような「個性」の強い方々が、落ち着いた生活を営むことができるようになるまでには、長い月日がかかります。まず第一に、6畳の部屋に2人で過ごすという、狭い空間の中での生活に適応する柔軟さが求められます。

Aさんは、毎日のようにお酒を飲んで暴力事件を起こし、何度も刑務所に出たり入ったりしていました。でも自ら「人生をやり直す」と、高浜安立への入所を決めて来られました。当初は居室にこもりがちで、他者との交流も持てな

かったのですが、職員がAさんと向き合い、会話を繰り返す中で今では「人のためになれば」と、「施設の美化」や「毎日のゴミ回収」の手伝いをしてきています。

Bさんは、キャンセル好きで定職に就かず、生活保護費のすべてをキャンセルにつき込む生活をしていました。入所後も、小遣いはすぐに使ってしまった、ご兄妹からの差し入れを当てにしていきましたが、施設内で気の合う仲間ができると、仲間同士で施設の掃除をするようになりました。ある日、面会に来られたご兄妹にそのことを話すと、「この人が…信じられない…」と驚き、とても喜ばれました。そして、そのことをほめられたその日からBさんは変わりました。今もずっと、早朝から日が暮れるまで黙々と「施設美化」に協力してくれています。

多くの方々が、人との関わり合いとは疎遠な生活を送ってこられたのでしょうか。そのため「人の温かさ」というものを忘れ、「愛情」に飢えていると感じることがあります。ですから私た

ち職員は、その方と人としての関わり合いを大切にしていこうと考えています。毎日の挨拶や、「ありがとう！」という感謝の言葉の繰り返し、心が潤いを与え、生きがいや居場所を見つめることにつながると信じて、私たちは入所者さんと向き合っています。

今、当施設は新しい寮舎の建設に大きな期待を寄せています。待ち望んだ「個室」は、6畳に2人で暮らす窮屈な生活とは比べものにならないほどの快適さを与えてくれるでしょう。しかし、完成までに約1年と言われる長い期間を乗り越えなければなりません。施設を解体しながら建設を進めていく中で、環境の変化についていけない方も出てくるかもしれません。安らげる我が家」のために私たち職員は大きな希望を持ち、現在の43名の入所者さんと一緒に新しい施設に移りたいと、心から願っています。

養護老人ホーム高浜安立 生活相談員

伊藤あずさ

## 《六月の言葉Ⅱ夏至》<sup>けし</sup>

一年で最も昼の時間が長くなる日です。それは、太陽が最も北（北回帰線の真上）に来るために起こる現象です。しかし実際は梅雨の真っ只中なので、日照時間は冬よりも短いことが多いようです。

## 《旬の野菜Ⅱオクラ》

夏のネバネバ野菜は元気の元。オクラに含まれるネバネバ成分は免疫力を高め、お腹の調子を整えてくれます。同じネバネバ野菜の山芋と合わせ酢の物などに。また、カレーの具やバター炒めにも。下茹でして冷蔵庫に入れておけば、マヨネーズをつけてかじったり、刻んで薬味にしたり、いろいろ楽しめます。

○今月は7日に御開山上人、28日に始祖・安立大法尼の御祥月命日をお迎えます。

三徳を実行し、報恩感謝の日といたしましょう。

## 編集後記

○先日、新幹線の待合室で『法音』を読んでいる方をお見かけしました。姿勢を正して読まれるその姿に感動し、こちらも気を引き締めて編集にあたらなければと思いました。もしかすると変化の人だったかも…。

○今年の1月号から「聖の教え」が始まって早6回。脈々と続くみ教えがテーマごとにまとめられ、気づかされることはいっぱいあります。今月は先月に続いてお題目についてでした。お題目の大切さを再確認できました。(S・M)

○ご高齢の方々と日々接していらっしゃる現場の方々の温かい思いやりの言葉は、仏さまの智慧。さすが「昭徳会！」と感銘を受けました。(S・T)

○「聖の教え」でお題目の大切さを改めて教えられる。行住坐臥にお題目を唱えること、不足の心が起きる時は忘れてしまっているな、と反省させられる。(J・U)

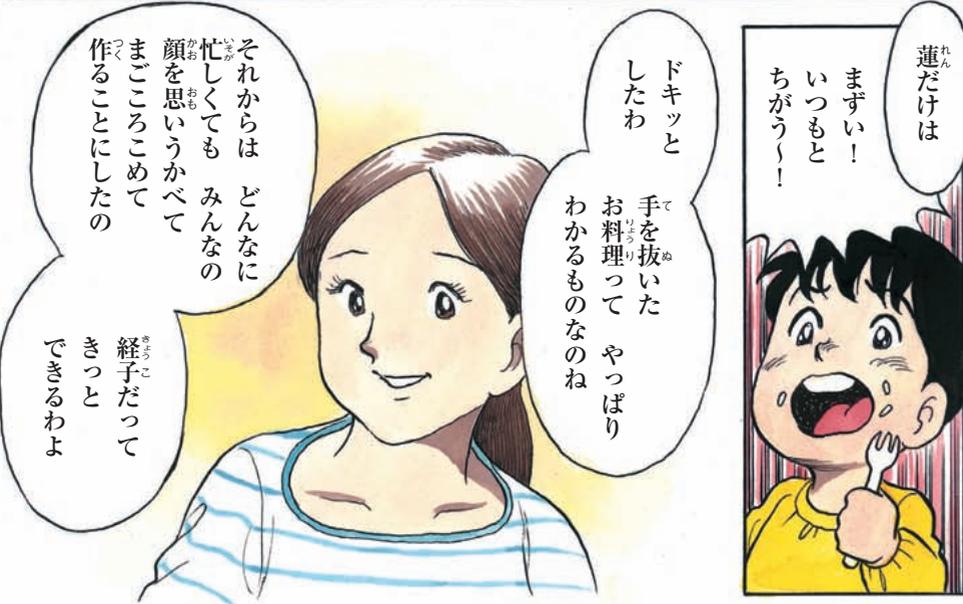
○熊本地震で被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。この震災の直後、壊れた建物の戸口に「挫折禁止」と貼り紙されていた」と新聞に見ました。「強い方だなあ」と思いました。そんな方々がおられることを知ると、ついつい「頑張つて」と声を掛けたくりますが、皆さまもう充分頑張つておられると思います。「三徳」を旨とする私たちは古から日本人に伝わる、真の優しい、人としての情愛を……と、しみじみ思いました。(G・M)

○「賛助員ご芳名」休みました。

# まごころ

竹中 淳







圭くん

おはよう  
経子ちゃん



おはよう

おはよう

おはよう  
ございませす



この子  
圭くん  
おな  
同じ町内の6年生

子ども会の  
カレー大会  
もうすぐだね

ええ

そうね…



いや、そんなに  
楽しみにされても…



経子ちゃんたちの  
作るカレー  
楽しみにしてるよ



経子



じゃあね



下したしらえも  
あるから 前まへ日じつ  
私わたしんちに集あつ合ごうよ  
わかった  
みんなに伝つたえとく



了解りようかいです  
うちのスーパーは  
何なんでもありまあす

ねえ それより  
カレーの材料ざいりょう  
まかせたわよ



へー  
そうだったの  
なに  
よ



照てれてる  
照てれてる  
かわい  
い



こうやつて  
面めん取とりするの

ねっ  
こうすれば  
具ぐ材ざいが溶とけ  
ださないのよ



ダメ  
ダメ  
ダメ!



煮に立たつてきたら  
ひたすら  
アクをとる

えぐ味みが  
とれるの



おや 今こん夜やも  
おそくまで  
やつてんだね  
おやすみ



おはよう  
ございます  
おじゃま  
します

台だい所じょ  
おかり  
します

土ど曜よう日び







みんな  
お昼よー

手洗い  
してねー



おいしくなーれ

おいしくなーれ



まぐんの顔しか  
思いうかばない…

あれー  
私…



お母さん  
食べてくれる  
人の顔を  
思いうかべてって  
いつてたけど



食べてる  
食べてる

みんな  
食べてる？



はい！  
順序よくね

たくさん  
あるから  
おかわり  
してよ



この味!?

むむつ  
ここの  
カレー!?



いただき  
ます

いただき  
ます



おい！  
どうした？



おしまい



# 法音寺の社会福祉・教育事業



徳を昭(あき)らかにし、徳を以って世間を照らす

## 社会福祉法人 昭 徳 会

■児童養護施設

駒 方 寮  
名 古 屋 養 育 院

■障害児入所施設

小 原 学 園

■障害者支援施設

小 原 寮  
泰 山 寮

■障害福祉サービス事業

授 産 所 高 浜 安 立

■特別養護老人ホーム

安 立 荘  
高 浜 安 立 荘  
小 原 安 立

■軽費老人ホーム(特定施設入居者生活介護事業)

ケ ア ハ ウ ス 高 浜 安 立

■軽費老人ホーム

ケ ア ハ ウ ス 大 阪 安 立

■養護老人ホーム

養 護 老 人 ホ ム 高 浜 安 立

■自立援助ホーム

慈 泉 寮

■保 育 所

駒 方 保 育 園  
光 徳 保 育 園  
天 王 保 育 園

法人本部 〒466-0832 愛知県名古屋市中昭和区駒方町4-10 TEL(052)831-5171  
<http://www.syoutokukai.or.jp>

我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す

## 学校法人 日本福祉大学

- 日本福祉大学大学院
- 日本福祉大学
- 日本福祉大学中央福祉専門学校
- 日本福祉大学附属高等学校

法人本部 〒470-3295 愛知県知多郡美浜町奥田会下前35-6 TEL(0569)87-2211  
<http://www.n-fukushi.ac.jp>



法音・平成28年6月号・No.560・平成28年6月1日発行  
発行所・日蓮宗法音寺／制作・法音寺広報委員会  
非売品／印刷・(株)一誠社



# 自説誓言

一人を導く功德は広大です  
是非一人は導きましょう

写真・法音寺大本堂  
《山首上人の大修行御成満奉告法要の礎》

## 日蓮宗大乘山 法音寺

〒466-0832 名古屋市中村区駒方町3-3 TEL.052-831-7135  
http://www.houonji.com FAX.052-831-9801

講話日

毎月7日・17日・27日  
午後1時30分

支院名	住 所	T E L	毎月の講話日
大乘山泰明寺	名古屋市中村区名駅2-37-3	〒450-0002 ☎(052)581-2069	5・20日
開 基 堂	江南市寄木町天道18	〒483-8184 ☎(0587)53-5436	10日
東 京 支 院	東京都練馬区谷原2-6-37	〒177-0032 ☎(03)3904-1251	第1日曜日。15日。第4土曜日
山形布教所	山形市長町2-4-6	〒990-0811 ☎(023)681-0770	10日
静 岡 支 院	磐田市城之崎4-7-3	〒438-0084 ☎(0538)32-6625	2・12・22日
豊 川 支 院	豊川市中野川町1-26-3	〒442-0885 ☎(0533)86-4704	4・20日
安 城 支 院	安城市新田町小山31-25	〒446-0061 ☎(0566)76-2504	第1、又は、第2日曜日。18・28日
明 川 支 院	豊田市明川町堂ノ脇1-2	〒444-2601 ☎(0565)67-2231	11日。第4土曜日
佐 屋 支 院	愛西市大井町浦田面296	〒496-0921 ☎(0567)32-1825	4日。第2日曜日。24日
一宮支院	一宮市大江1-7-4	〒491-0851 ☎(0586)72-7208	5・15・25日
西 春 支 院	北名古屋九之坪東ノ川20	〒481-0041 ☎(0568)22-5813	2・12・22日
岐 阜 支 院	岐阜市切通7-15-22	〒500-8237 ☎(058)245-2939	4・14・24日
笠松布教所	岐阜県羽島郡笠松町八幡町23	〒501-6042 ☎(058)388-2740	12日
大 垣 支 院	大垣市宝和町5	〒503-0972 ☎(0584)78-4854	1・11・21日
関 支 院	関市西福野町2-15-11	〒501-3244 ☎(0575)22-0776	3・13・23日
平 賀 支 院	関市市平賀213-2	〒501-3822 ☎(0575)23-3771	5・15・25日
郡上八幡支院	郡上八幡町小野721-3	〒501-4221 ☎(0575)65-3933	8・22日
四日市支院	四日市市赤堀2-4-7	〒510-0826 ☎(059)352-3633	3・13・22日
上 野 支 院	伊賀市上野向島町3475	〒518-0875 ☎(0595)21-0127	1・11・21日
京 都 支 院	京都市上京区寺町通今出川上ル二筋田西入北横町360	〒602-0818 ☎(075)231-3437	1・9・20日
高 槻 支 院	高槻市天神町1-9-2	〒569-1117 ☎(072)685-1003	第1日曜日。11・21日
大 阪 支 院	大阪市此花区西九条3-4-41	〒554-0012 ☎(06)6465-5051	第2日曜日。23日
福井布教所	あわら市春宮3-28-2	〒919-0632 ☎(0776)73-5234	第3土曜日
和 泉 支 院	大阪府泉南郡田尻町嘉祥寺404	〒598-0091 ☎(0724)66-3112	第1日曜日。14・22日
神 戸 支 院	神戸市兵庫区五宮19-17	〒652-0007 ☎(078)360-4884	第2土曜日。21日
淡 路 支 院	南あわじ市神代国衛910	〒656-0455 ☎(0799)42-0175	5・15・25日
岡 山 支 院	岡山市南区若葉町1-16	〒702-8047 ☎(086)262-0818	第1日曜日。7・23日
高知布教所	高知市上町5-5-39	〒780-0901 ☎(088)823-1983	12日
福 山 支 院	福山市西町3-19-5	〒720-0067 ☎(084)921-3078	1日。第3日曜日
三 原 支 院	三原市古浜3-3-17	〒723-0013 ☎(0848)62-5087	第2土曜日。第4日曜日
安芸津支院	広島県安芸安芸津町三津3765-3	〒739-2402 ☎(0846)45-4012	第1土曜日。第4日曜日
坂 支 院	広島県安芸郡坂町坂東2-24-12	〒731-4313 ☎(082)885-1064	第1、又は、第2日曜日
福 岡 支 院	福岡市早良区城西2-11-37	〒814-0003 ☎(092)821-7975	第1日曜日。第3日曜日。15日
宍 岐 布 教 所	宍岐市石田町池田東触1112	〒811-5221 ☎(0920)44-5445	13・23日
筑後布教所	筑後市大字西牟田5954-1	〒833-0053 ☎(0942)53-7273	第2日曜日。第4日曜日
天 草 布 教 所	上天草市大矢野町維和1502-1	〒869-3604 ☎(0964)58-0742	1日
田 川 支 院	田川市春日町7-30	〒826-0026 ☎(0947)42-1819	第2日曜日。第4日曜日
名 古 屋 地 区	名古屋市中村区駒方町3-3	〒466-0832 ☎(052)831-7135	7・17・27日
養 老 布 教 所	岐阜県養老郡養老町高田653-6	〒503-1314 ☎(0584)32-3589	6日
瀬 戸 布 教 所	瀬戸市東本町2-20	〒489-0816 ☎(0561)85-6860	9・19・29日
亀 岡 布 教 所	亀岡市篠町篠牧田73-1	〒621-0826 ☎(0771)25-7807	第2日曜日。第4日曜日

※やむを得ない理由で講話日を変更する場合があります。開始時刻及びその他の行事については、それぞれにお問い合わせください。